

2018年1月吉日

成蹊大学 2017年度 公開シンポジウム開催のお知らせ
テーマ：「日本の中の朝鮮文化、再発見」

成蹊大学（東京都武蔵野市、学長：北川浩）は、2018年1月27日（土）に公開シンポジウム「日本の中の朝鮮文化、再発見」を開催いたします（成蹊大学アジア太平洋研究センター主催、駐日韓国大使館 韓国文化院・公益財団法人 日本民藝館後援）。

朝鮮半島の文化と日本の文化の深いかかわりの歴史と現在について考え、共有するため、日韓それぞれの文化に深く関わりのある方々の講演および全体を含めたディスカッションを行います。当日のプログラムに関しては、下記をご参照下さい。

<趣旨説明>

近隣諸国との間でヘイトスピーチ等が社会問題となっている今日、このシンポジウムでは、あらためて歴史の長いスパンのなかに日本の文化と朝鮮半島の文化との交流史を位置づけ、その到達点としての現在を再発見していこうとするところみである。近視眼的な歴史観を超えてアジアと向き合う視点を模索するとともに、「文化に気づき育むこと」「他なる文化に学ぶこと」「他なる文化／内なる文化への共感の可能性」など、それらが交差する世界に想像力をふくらませ、考察を交わす機会としたい。

◆公開シンポジウム「日本の中の朝鮮文化、再発見」

（主催：成蹊大学アジア太平洋研究センター

後援：駐日韓国大使館 韓国文化院 / 公益財団法人 日本民藝館）

【日 時】2018年1月27日（土）14:00～17:30

【プログラム】

1. 挨拶

金 現煥 氏（駐日韓国大使館 韓国文化院 院長）

「これからの韓日文化交流を考える」

2. シンポジストによる講演（各 25 分講演後、全体でディスカッションの予定）

井上 満郎 氏（京都市歴史資料館館長・高麗美術館館長）

「古代史のなかの朝鮮文化」

金 政起 氏（韓国外国語大学名誉教授、『美の国 朝鮮』他）

「ひとつの文化圏としての北九州～朝鮮半島南部地域」

藤本 巧 氏（写真家、『韓（から）くに、風と人の記録』（鶴見俊輔・司馬遼太郎らと共著）他）

「日本の中の韓国渡来文化」

杉山 享司 氏（日本民藝館 学芸部長）

「柳宗悦に学ぶー朝鮮文化への眼差し」

コメンテーター

有富 純也 氏 (成蹊大学文学部准教授)

奥野 昌宏 氏 (成蹊大学名誉教授)

司会

中江 桂子 氏 (成蹊大学アジア太平洋研究センター所長・文学部教授)

- 【会場】** 成蹊大学 4 号館ホール (東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1)
JR 中央線・井の頭線「吉祥寺」駅より徒歩約 15 分
または吉祥寺駅北口①・②番バス乗り場から関東バスで約 5 分「成蹊学園前」下車
- 【参加費用/資格】** 無料/どなたでもご参加いただけます。直接会場へお越しください。
- 【定員】** 300 名 (当日先着順)
- 【お問合せ先】** 成蹊大学アジア太平洋研究センター
TEL: 0422-37-3549 E-mail: caps@jim.seikei.ac.jp

※お申込みの必要はございません。直接会場へお越しください。

※シンポジウム内容・シンポジスト・会場につきましては、止むを得ず変更になる場合がございます。

本件に関する報道機関からのお問合せ先

成蹊学園 企画室 広報グループ

TEL.0422-37-3517 FAX.0422-37-3704 E-mail.koho@jim.seikei.ac.jp